学校番号	1015

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（教育図書出版）						
副教材等	くらしを生かすペン習字入門（教育図書出版） 高校硬筆の練習（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書写と書道の違いを学ぶ。
用具用材の説明を受け、表現の違いを学ぶ。
生涯を通して広く書を愛好する心情を育てる。

２　学習の到達目標

書写の復習、書写からの発展を目指す。
書の良さ美しさを感じとり、応用作品にもチャレンジする。（篆刻、カレンダー作成）

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・意欲及び熱意、主体的に創造的活動に取り組もうとする姿勢 ・集中力 ・私語の有無	・書の良さや美しさを表現する工夫をする。	・作品の完成度を高めつつ、自分らしい文字を書くことをめざす。	・書の良さ、美しさを感じ取り、書の伝統と文化についての理解を深める。
評価方法	・授業中の取組状況 ・出欠・遅刻等の回数 ・準備・後片付けのチェック ・作品の提出	・観察 ・提出作品	・観察 ・提出作品	・観察 ・提出作品 ・鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	・書道とはなんだと題し、書写と書道の違いを説明するとともに、用具・用材の解説も行う。	○			○	a:集中して説明を聞いていたか d:趣旨の理解度	・授業地度 ・プリント
	楷書の学習	・基本的な点画、線質の表し方を習得する。 ・漢字の楷書の古典に基づく学習により、多様な表現の可能性に触れる。	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んでいたか b:文字が見本をもとに書かれているか c:多様な表現が見られるか d:楷書の基礎を理解し、その良さを感じ取っているか	・楷書作品
	篆刻の学習	・自分の姓名を石に印字して彫る。 ・作品の最後に押印する落款印の重要性を教えるとともに篆書体で自分の姓名を書いて篆書体の基本的用筆法に触れさせる。	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んでいたか b:姓名の字体に工夫が見られるか c:丁寧に美しい字体が惚れているか d:篆刻の基礎を理解し、特性や良さを味わっているか	・篆刻作品
2学期	行書の学習	・行書の古典を鑑賞し、行書の特徴を把握させ、臨書学習により行書の基本的な用筆法を取得する	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んでいたか b:行書の特性を掴んでいるか c:文字が美しく書かれているか d:行書の基礎を理解し、特性や良さを味わっているか	・行書作品
	隷書の学習	・現在でも広告文字で使用されることの多い隷書体を紹介し、親しみを持たせる。 ・古典を臨書することにより隷書の基本的な用筆法を習得する。	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んでいるか b:隷書体の特性を掴んでいるか c:文字が美しく書かれているか d:隷書の特性を理解し、良さを味わっているか	・隷書作品

	カレンダー制作	・学習した楷書、行書、隷書の古典を題材とし、習得した技法を生かして漢字2文字熟語の創作を行う。 ・1学期に完成させた篆刻印を押印する。	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んだか b:文字に工夫が見られるか c:作品の完成度の高さ d:それぞれのカレンダーの良さを感じ、創造的に味わっているか	・カレンダー作品
3学期	仮名の学習	・我が国独自の文字である仮名について成立過程を字源について理解する。 ・平仮名を中心とした上代仮名の筆使いに慣れ、基本的な用筆法を取得する。	○	○	○	○	a:集中して課題説明及び制作に取り組んだか b:仮名の表現の工夫が見られるか c:仮名の美しさ d:成立過程を理解し仮名の良さを味わっているか 今までの創作書道の良さ美しさを感じ取っているか	・仮名作品 ・鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。